平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年4月30日

上場会社名 株式会社 システムソフト　　上場取引所　東
コード番号 7527　URL http://www.systemsoft.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 吉尾 春樹
問合せ先責任者　(役職名) 取締役執行役員管理本部長　(氏名) 緒方 友一　TEL 092-732-1515

四半期報告書提出予定日　平成26年5月2日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	1,541	―	287	―	286	―	413	―
25年9月期第2四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	6.19	6.11
25年9月期第2四半期	―	―

(注) 平成25年9月期第2四半期の経営成績につきましては、四半期連結財務諸表を作成しているため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	7,126	6,631	91.1	96.98
25年9月期	6,611	6,213	91.4	90.64

(参考)自己資本　26年9月期第2四半期　6,490百万円　25年9月期　6,046百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	―	0.00	―	0.00	―
26年9月期	―	0.00			
26年9月期(予想)			―	2.00	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 9月期の業績予想(平成25年10月 1日～平成26年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,225	26.0	575	67.3	570	69.8	536	89.4	8.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

業績予想の修正については、本日(平成26年4月30日)公表いたしました「第2四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無
② ①以外の会計方針の変更　：　無
③ 会計上の見積りの変更　：　無
④ 修正再表示　：　無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年9月期2Q	66,958,160 株	25年9月期	66,733,760 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	31,615 株	25年9月期	31,500 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年9月期2Q	66,778,026 株	25年9月期2Q	51,878,653 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】2ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第２四半期累計期間 …… 6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

なお、前第２四半期累計期間は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当第２四半期累計期間（平成25年10月１日～平成26年３月31日）におけるわが国の経済は、政府主導の経済政策による円安や株高の影響もあり、輸出企業や大企業を中心として企業業績の改善が見られ、全体的には回復基調で推移いたしました。

当社が属する情報サービス産業におきましては、企業の情報関連投資において増加傾向が見られました。また、スマートフォンやタブレット型のモバイル端末のユーザーの広がりにより、これらに対応するシステム投資も好調に推移いたしました。

このような環境下、当社は、更なる企業価値向上のため、これまでのシステム開発を中心とした事業分野に加え、前期におけるパワーテクノロジー株式会社の吸収合併により新たに開始したWebマーケティング事業の拡大に注力いたしました。その一環としまして、平成25年10月１日付で連結子会社 株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社のモバイルマーケティング事業をWebマーケティング事業に統合し、両事業のより効率的な連携体制を構築いたしました。

また、従来からのシステム開発事業分野におきましては、当社が得意とする不動産分野の開発ノウハウを活かし、平成26年２月３日に公表いたしましたとおり、全国賃貸管理ビジネス協会グループの事業子会社である全管協ポータルサイト株式会社との新たな取引を開始いたしました。同グループは、賃貸管理業に携わる会員企業の業界最大級のビジネス団体であります。

これらの結果、当第２四半期累計期間における売上高は1,541百万円、営業利益は287百万円、経常利益は286百万円となりました。また、株式会社アップトゥーミーとの合併に伴う抱合せ株式消滅差益61百万円、投資有価証券売却益187百万円等の特別利益を255百万円計上した一方、厚生年金基金脱退拠出金79百万円等の特別損失を89百万円計上したことにより、四半期純利益は413百万円となりました。

セグメント毎の業績は、次のとおりであります。

なお、システム開発事業及び賃貸不動産情報サイト運営事業につきましては、参考として前年同四半期の業績との比較を記載しております。

① システム開発事業

大手企業を中心としたお客さまに対し、長年にわたってソリューションプロダクト及びソリューションサービスを提供しております。当第２四半期累計期間におきましては、お客さまの情報関連投資に対する増加傾向が見られ、不動産、生損保、金融関連などの各分野において順調に案件の受注がすすみました。事業全体では売上高は622百万円（前年同期比101百万円増）、営業利益は91百万円（前年同期比27百万円増）となりました。

② 賃貸不動産情報サイト運営事業

賃貸不動産情報サイト「APAMAN」につきましては、当第２四半期累計期間においてサイトの立ち上げより２年を経過し、お客さまとの契約の更新時期を迎えました。なお、更新に際し、お客さまからサイトのリニューアル等の要望が出てきていることを踏まえ、現行サイトでの掲載料の見直しを行ったことより、この事業の売上高は89百万円（前年同期比36百万円減）、営業利益は20百万円（前年同期比23百万円減）となっております。

③ Webマーケティング事業

前期におけるパワーテクノロジー株式会社との合併により、同社の事業を継承し、大手企業を中心としたWebマーケティング事業を行っております。また、平成25年10月１日付で連結子会社 株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社のモバイルマーケティング事業を当事業に統合いたしました。当第２四半期累計期間におきましては、新規顧客開拓による取引規模の拡大と既存のお客さまへの付加価値の高いサービスの提供に努めてまいりました結果、この事業の売上高は830百万円、営業利益は287百万円となっております。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ515百万円増加し、7,126百万円となりました。これは主に、合併により関係会社株式304百万円が減少した一方で、合併による受入や売上債権の回収により現金及び預金が891百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ97百万円増加し、494百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加45百万円、買掛金の増加21百万円等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ418百万円増加し、6,631百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加413百万円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年４月30日公表の「第２四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しましたとおり、当第２四半期累計期間におきましては、企業の情報関連投資が回復傾向にあり、システム開発事業・Webマーケティング事業の業績が順調に推移いたしました。また、特別損失として厚生年金基金脱退拠出金79百万円等を計上した一方で、抱合せ株式消滅差益61百万円、投資有価証券売却益187百万円等の特別利益を計上したことにより、売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益とも前回発表予想を上回りました。

通期業績予想につきましては、売上高は前回発表予想を据え置くものの、より付加価値の高い案件の獲得が見込まれることから、営業利益・経常利益は前回発表予想をそれぞれ49百万円、57百万円上回る見通しであります。また、上期に前述の特別利益を計上いたしましたが、下期において事務所移転費用（特別損失）が発生する予定であり、当期純利益は前回発表予想を156百万円上回る見通しであります。これらの結果、平成26年９月期の業績予想は、売上高3,225百万円、営業利益575百万円、経常利益570百万円、当期純利益536百万円を見込んでおります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年９月30日）	当第２四半期会計期間 （平成26年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,307,416	2,199,355
受取手形及び売掛金	553,989	452,468
仕掛品	9,968	21,281
繰延税金資産	117,020	117,311
その他	73,038	48,518
流動資産合計	2,061,432	2,838,935
固定資産		
有形固定資産	59,539	123,389
無形固定資産		
のれん	3,053,818	3,032,402
その他	62,640	64,108
無形固定資産合計	3,116,458	3,096,510
投資その他の資産		
長期前払費用	874,510	821,510
その他	499,410	246,438
投資その他の資産合計	1,373,921	1,067,949
固定資産合計	4,549,919	4,287,850
資産合計	6,611,351	7,126,785
負債の部		
流動負債		
買掛金	83,714	104,739
未払法人税等	－	45,566
賞与引当金	35,790	33,967
資産除去債務	－	2,302
その他	105,190	117,127
流動負債合計	224,695	303,703
固定負債		
繰延税金負債	8,019	4,988
退職給付引当金	159,717	160,716
資産除去債務	4,494	2,226
その他	945	23,263
固定負債合計	173,176	191,194
負債合計	397,872	494,898

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年９月30日）	当第２四半期会計期間 （平成26年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,413,491	1,431,560
資本剰余金	4,169,693	4,187,762
利益剰余金	459,015	872,366
自己株式	△8,023	△8,035
株主資本合計	6,034,177	6,483,653
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,840	6,893
評価・換算差額等合計	11,840	6,893
新株予約権	167,461	141,339
純資産合計	6,213,479	6,631,887
負債純資産合計	6,611,351	7,126,785

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成25年10月１日 至　平成26年３月31日）
売上高	1,541,652
売上原価	863,458
売上総利益	678,194
販売費及び一般管理費	391,013
営業利益	287,180
営業外収益	
受取利息	1,153
受取配当金	143
負ののれん償却額	945
その他	9,854
営業外収益合計	12,096
営業外費用	
支払手数料	5,801
その他	7,163
営業外費用合計	12,964
経常利益	286,312
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	61,592
投資有価証券売却益	187,575
新株予約権戻入益	6,814
特別利益合計	255,982
特別損失	
合併関連費用	367
固定資産除却損	6,754
厚生年金基金脱退拠出金	79,689
その他	2,326
特別損失合計	89,137
税引前四半期純利益	453,158
法人税、住民税及び事業税	39,917
法人税等調整額	△109
法人税等合計	39,807
四半期純利益	413,350

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成25年10月１日 至　平成26年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	453,158
減価償却費	74,217
のれん償却額	88,462
抱合せ株式消滅差損益（△は益）	△61,592
投資有価証券売却損益（△は益）	△187,575
新株予約権戻入益	△6,814
固定資産除却損	6,754
厚生年金基金脱退拠出金	79,689
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,823
退職給付引当金の増減額（△は減少）	999
受取利息及び受取配当金	△1,296
売上債権の増減額（△は増加）	111,914
未収入金の増減額（△は増加）	434
たな卸資産の増減額（△は増加）	△11,313
仕入債務の増減額（△は減少）	20,793
未払金の増減額（△は減少）	952
未払消費税等の増減額（△は減少）	△13,759
その他	8,306
小計	561,506
利息及び配当金の受取額	148
法人税等の支払額	△1,276
法人税等の還付額	23,197
厚生年金基金脱退拠出金の支払額	△79,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	503,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△44,144
無形固定資産の取得による支出	△8,360
投資有価証券の売却による収入	193,004
差入保証金の差入による支出	△58,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	
新株予約権の行使による株式の発行による収入	16,830
自己株式の取得による支出	△11
リース債務の返済による支出	△494
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,323
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	602,208
現金及び現金同等物の期首残高	1,307,416
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	289,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,199,355

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当第２四半期累計期間（自　平成25年10月１日　至　平成26年３月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	システム開発事業	賃貸不動産情報サイト運営事業	Webマーケティング事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	622,420	89,000	830,231	1,541,652
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－
計	622,420	89,000	830,231	1,541,652
セグメント利益	91,314	20,240	287,182	398,737

２　報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成25年10月１日付で、連結子会社であった株式会社アップトゥーミーを吸収合併し、同社が行っていた「モバイルマーケティング事業」を当社の「Webマーケティング事業」に統合いたしました。

この結果、前連結会計年度までの４区分を、第１四半期会計期間より「システム開発事業」「賃貸不動産情報サイト運営事業」及び「Webマーケティング事業」の３区分に変更しております。

なお、当第２四半期累計期間においては四半期連結財務諸表を作成していないため、前第２四半期連結累計期間におけるセグメント情報については記載しておりません。

３　報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	398,737
のれんの償却額	△88,462
全社費用（注）	△23,094
四半期損益計算書の営業利益	287,180

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

４　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

平成25年10月１日付で連結子会社であった株式会社アップトゥーミーを吸収合併したことに伴い、連結上ののれんを個別財務諸表に引き継いでおります。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第２四半期累計期間においては67,046千円であります。